

お茶と和菓子のコラボイベント
和菓子deパーティー開催

1月28日、茶道の作法に触れながらおいしい和菓子を楽しめる新しいイベント『和菓子deパーティー』がジョイじよぐらにて開催され、約30名がお茶と和菓子を楽しみました。

これは町内で茶道を教える宗偏流師範の山本宗智さん（江差町在住）と、和菓子職人の経験がある工藤三代さん（大留在住）の協力を得て実現したもので、広く茶道に触れると同時に、手作りの和菓子のおいしさを味わってもらおうと開催されました。

参加者は、和風に飾り付けられた会場の雰囲気の中で、本格的なお茶や手作りの練り和菓子の甘味を楽しみ、普段とは一味違う儼かなイベントを楽しんでいる様子でした。



鬼と豆と笑顔の子供たち

2月3日、上ノ国・河北両保育所において、恒例の園児たちによる節分の豆まきが行われました。

園児たちは、豆を入れる紙の箱や鬼のお面を作るなどこの日を楽しみにしていた様子で、当日は保育所内の各部屋をくまなく回りながら豆を撒いていました。

そして途中、鬼に扮した職員が乱入し、園児たちを驚かせました。年少組は初めての経験に怖がって隠れていたものの、年中・年長組は勢よく豆をぶつけ、鬼を撃退していました。

節分の豆まきは古い歴史を持つ日本の文化であると同時に、子供に善悪の観念を教える機会ともなっています。

園児たちにとってこの日は、豆と鬼を通じて善いことと悪いことを学び、少しだけ大人に近づいた1日となりました。



交通死亡事故ゼロ
連続3000日達成

1月20日、本町が交通死亡事故ゼロ連続3000日を迎えたことから、北海道交通安全推進委員会および江差警察署より表彰されました。

本町では、8年前に発生した死亡交通事故以来、各地区の交通安全推進委員や地域の方々の努力によって安全が守られてきました。

そして2月1日、これまで地域で積極的に交通安全活動を行ってきた町交通安全推進委員会（工藤昇会長）と、大留・北村・湯ノ岱・滝沢の各地域交通安全推進委員に、檜山振興局長と江差警察署長より表彰状が贈られました。

これに対し、工藤会長は『交通事故は被害者も加害者もつらい思いをする。本町で二度と悲しい事故が起きないように、これからも活動を継続したい』と、決意を新たにしていました。



中学校バレーボール部
地元大会制す

2月11日、渡島檜山管内の中学生が競い合う『第42回道南選抜中学校バレーボール上ノ国大会』が町民体育館および上ノ国中学校で開催されました。

本町からは上ノ国中学校男女バレーボール部がそれぞれ出場し、女子バレー部は並み居る競合相手に力強い試合運びで優勝を果たしました。

また、女子主体の本大会ですが、一昨年前に全道大会優勝を成し遂げた男子バレー部も予選リーグのみ特別に参加し、技巧に優れたプレーを見せていました。

常に成長を続ける選手達に、監督からは『男女とも全道大会上位に食い込めるよう、これからも努力を積み重ねてほしい』との言葉があり、また、大会運営なども含め、両部には地域からの多大な支援もあることに触れ、男女バレー部は感謝とともに次を見据えて練習に励むとのことでした。

